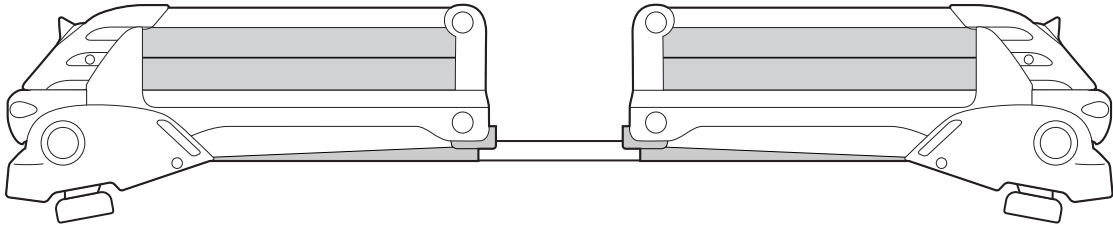
5652-70918

CARMATE

INNO UK711 取扱説明書

STYLE TRANSPORTATION·INNOVATED WINTER CARRIER

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、お客様に本品を安全に正しくお使いいただくためのものです。本品をお使いになる前には必ず本書をよくお読みください。
お読みになった後は、本品をお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管しておいてください。

本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

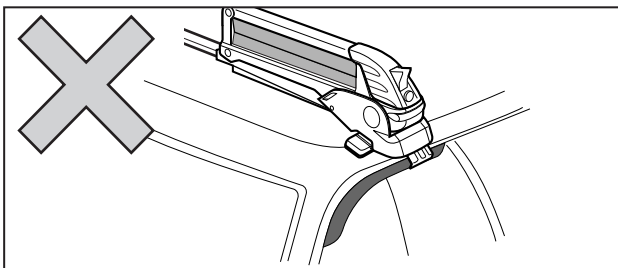
目　　次

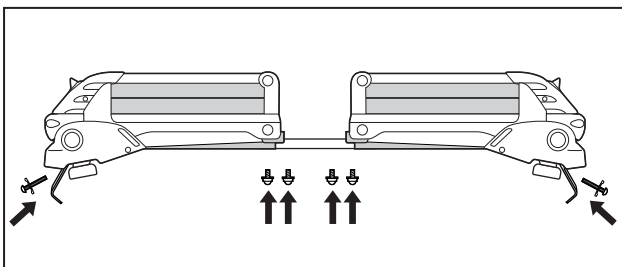
安全にお使いいただくために

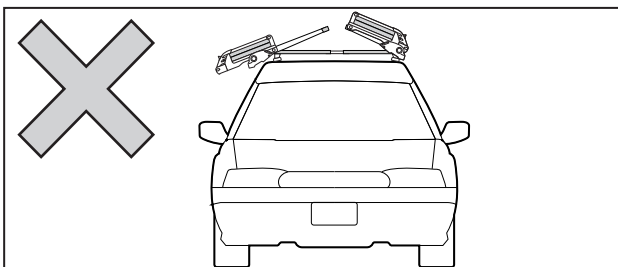
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

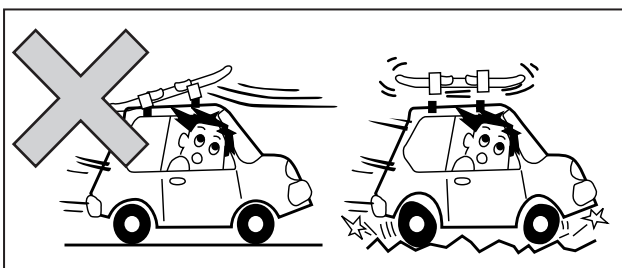
⚠警告

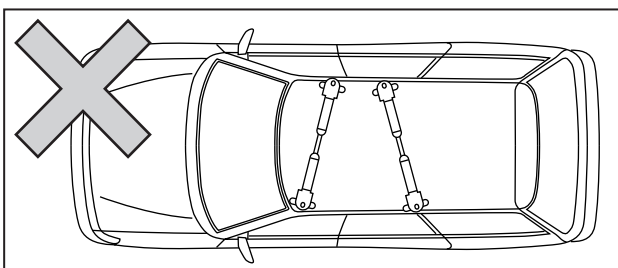
警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

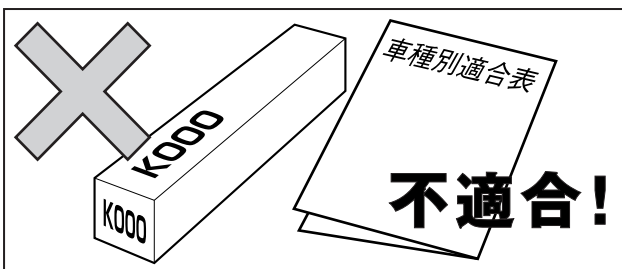
サイドバイザーへの取付禁止

キャリアはサイドバイザーに取付けないでください。

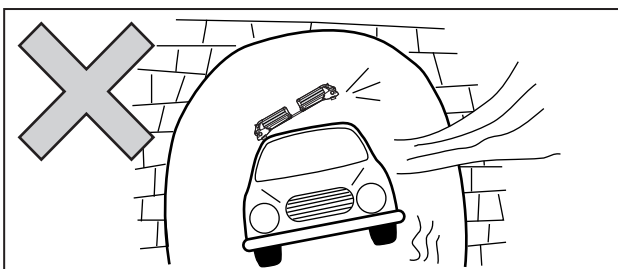
ボルトのゆるみに注意

走行前に必ず積載物を載せて前後キャリア合せて12ヶ所のビスやボルトにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は、増し締めしてください。

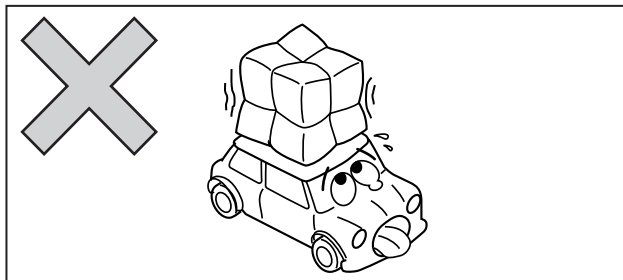
スライドしたままでの走行禁止

キャリア本体を引出したままで走行しないでください。

法定速度以下での走行

積載時必ず法定速度以下の速度で走行してください。さらに、強風時や悪路では充分速度をおとして走行してください。

取付位置の注意

キャリアは、必ず車両の進行方向に対して直角に取付けてください。

適合車種以外の車両への使用禁止

車種別適合表に記載されている、適合以外の車両への取付はしないでください。また、「SU取付フック」（別売）は、必ず車両と適合するものを取付けてください。

ユルミ、ガタツキ注意

トンネル出口や橋の上などで、強い横風をうけた場合、安全な場所でキャリアのビスやボルトのユルミによるガタツキ等異常がないか確認してください。

最大積載量を超えた積載禁止

最大積載量を超えた積載はしないでください。

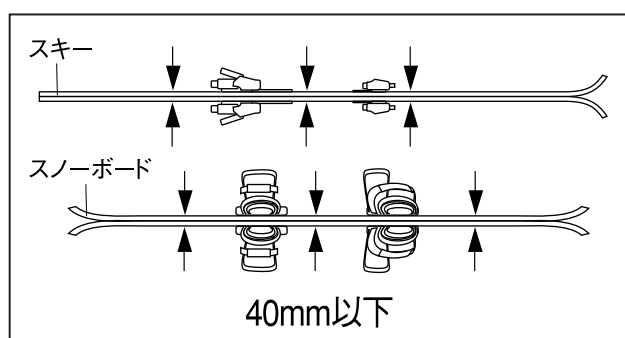
〈本製品の最大積載量〉

スキーのみ	6セット※1
スキー＋ストック	各4セット※1
スノーボードのみ	4台※2
スノーボード＋スキー	ボード2※2＋スキー3※1

※１ カービングスキー等、スキー板の幅により積載台数が少なくなる場合があります。
※２ スノーボードの積載台数は、車種・バインディングの大きさにより少なくなる場合があります。

※車種により、ルーフの強度が弱いため積載台数に制限がある場合があります。店頭のINNO車種別適合表でご確認ください。「SU取付フック」取扱説明書の積載条件に本品は適合しません。

適合しないスキー、スノーボード、ストックの積載禁止

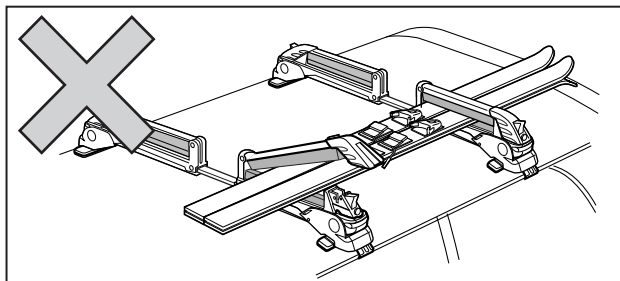
必ず確認手順（P18参照）を行い、適合しないスキー、スノーボード、ストック、はキャリアに積載しないでください。

アタッチメントで保持する部分の厚みが、40mmを超えるものは積載しないでください。

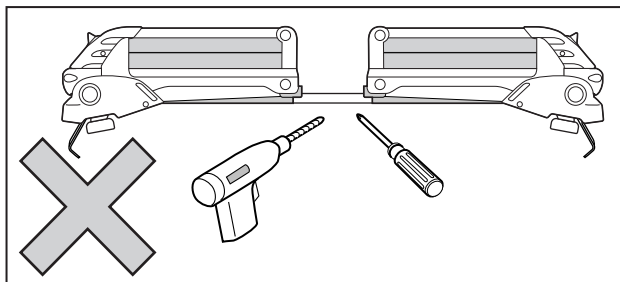
スキー、スノーボード、ストック以外の積載禁止

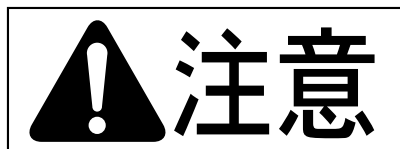
スキー、ストック、スノーボード以外のものを積載しないでください。

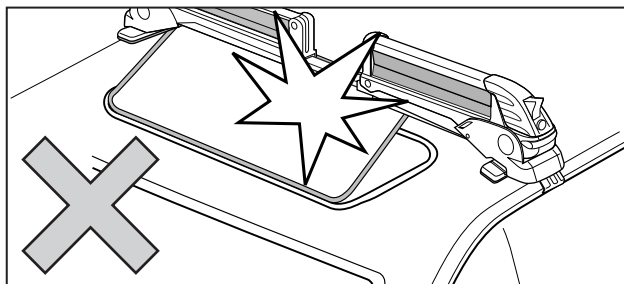
ケース、保護用ビニール袋の使用禁止

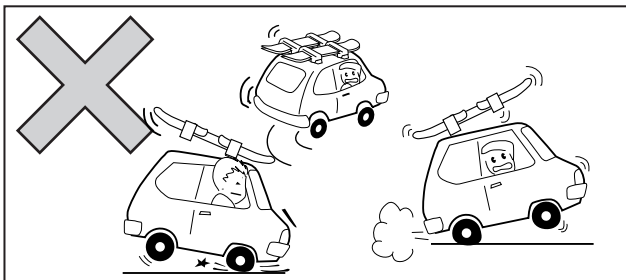
積載時には、スキーケースやスノーボードケース、保護用ビニール袋を使用しないでください。

走行中はキーを閉める

スキー、ストック、スノーボードを積載する時は、必ずクランプアームを確実に閉じてキーをロックしてください。

改造禁止

キャリアに穴を開けたり、曲げたりする改造をしないでください。

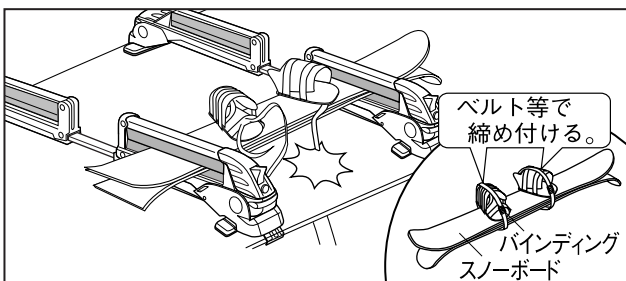
注意

注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。

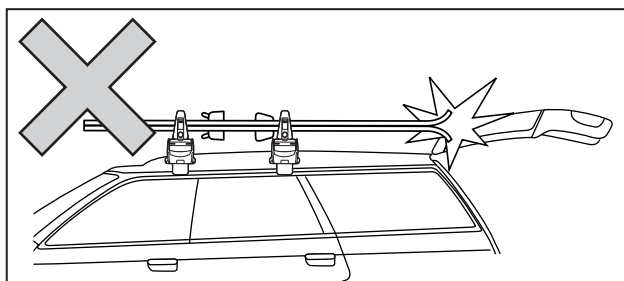
サンルーフの開閉禁止

キャリアを取付けた状態で、サンルーフを開閉しないでください。

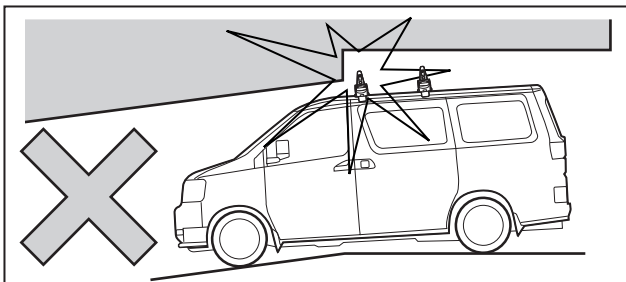
急発進、急ハンドル、急ブレーキの禁止

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

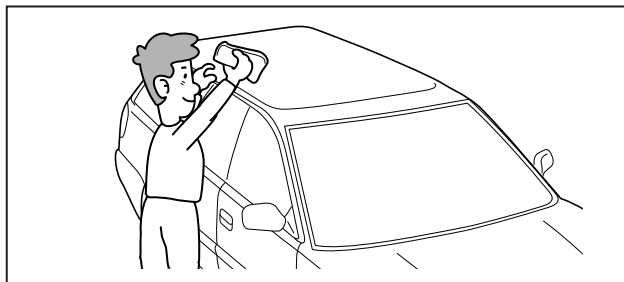
洗車機の使用禁止

洗車機にかける時は、キャリアを外してください。

バインディング注意

スノーボードのバインディングやリーシュコードがルーフに当たる場合はベルト等で固定をしてから、積載してください。

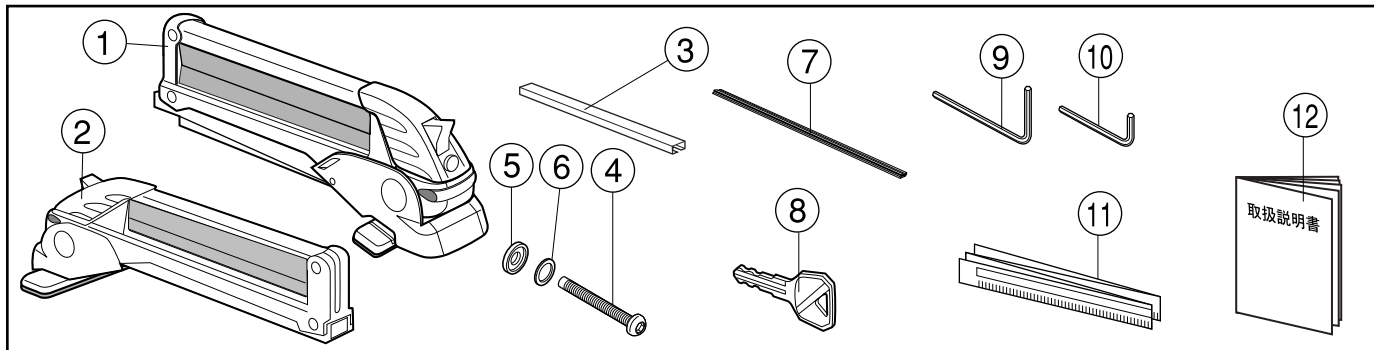
リアゲート開閉注意

リアゲートやトランクを開ける時は、スキーやスノーボードに当てないように注意してください。

車高注意

キャリア装着時は、車高が高くなっておりますので、注意して走行してください。

走行後はキャリアを外す

走行後はキャリアを外し、再装着の際にはキャリアのベース部やフックとルーフの汚れを落としてください。

取付方法

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

No.	部品	数量	No.	部品	数量	No.	部品	数量
①	キャリア本体(右)	2	⑤	皿ワッシャ	4個	⑨	六角レンチ(大)	1本
②	キャリア本体(左)	2	⑥	樹脂ワッシャ	4個	⑩	六角レンチ(小)	1本
③	フレーム	2本	⑦	フレームモール	1本	⑪	UK専用メジャー	1枚
④	取付ボルト	4本	⑧	キー	2個	⑫	取扱説明書(本書)	1部

⚠警告

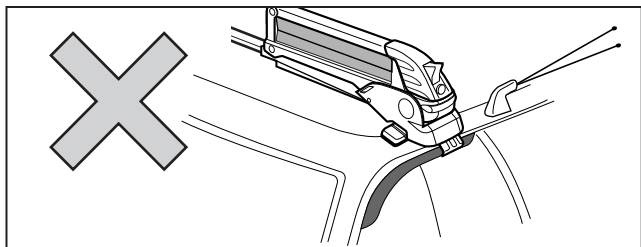
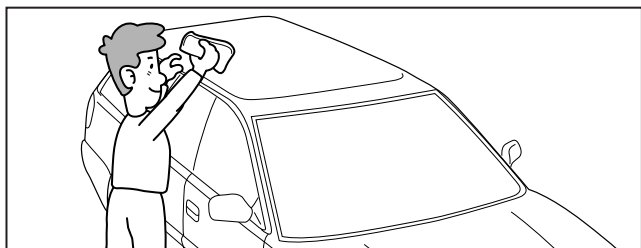
本品の取付けには別売の「SU取付フック」が必要です。店頭のINNO車種別適合表で必ず確認してください。

使用工具を準備する

本品の取付けには、次の工具が必要ですので準備してください。

使用工具	数量	使用工具	数量	使用工具	数量
ハサミ	1個	鉛筆	1本	メジャー(1m迄測定できるもの)	1個

キャリアの取付準備をする

1 取付位置により、サイドバイザー、サンルーフバイザー、アンテナを取外す。

2 車両のルーフの汚れをきれいに落とす。

⚠警告

サイドバイザーにキャリアを取付けると、取付フックの固定力不足によりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

参考

サイドバイザーがドア側についている場合は、取付フックがサイドバイザーに干渉していなければ取外す必要はありません。

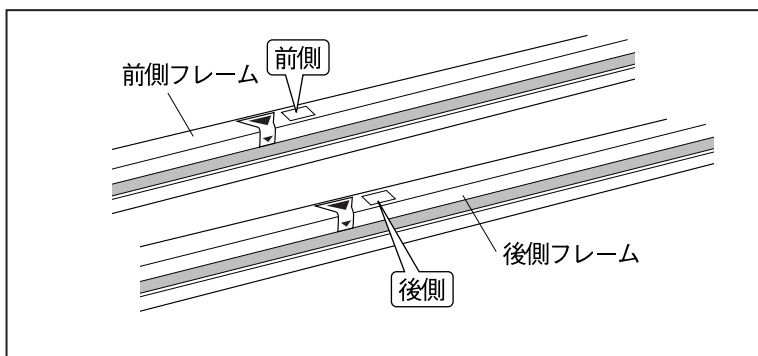
参考

INNO車種別適合表で取付部品(Kフック除く)の指定がある場合は、この段階で取付けてください。

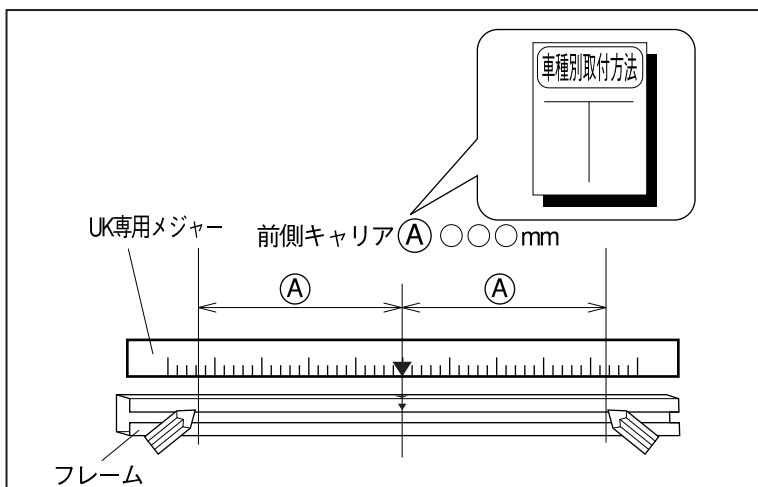
参考

ルーフの傷付き防止のために、ベースの載る部分に別売のベースシート(IN-101)を使用することをおすすめします。

キャリアの幅調整

1 フレームにシールを貼る

「SU取付フック」付属のシール（前側、後側）を前側フレーム、後側フレームそれぞれに貼る。

2 前側キャリアの幅調整

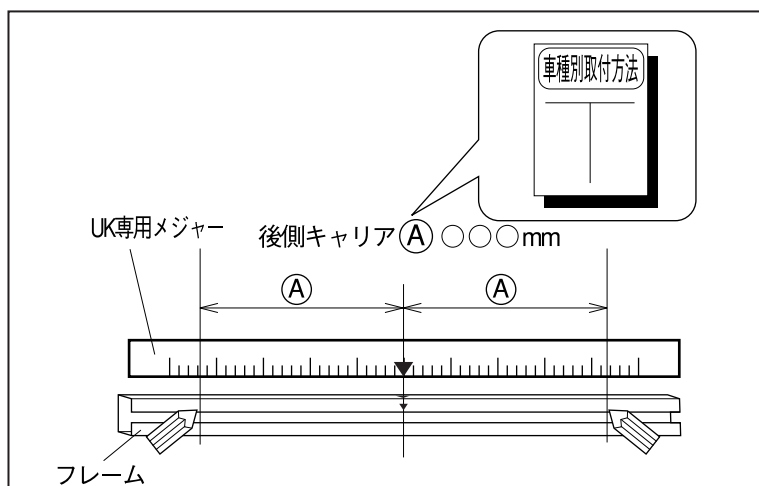
① UK専用メジャーのセンターと前側フレームのセンターマークを合わせる。

② UK専用メジャーの目盛りを「車種別取付方法」（SU取付フック付属）記載の「前側キャリアA」寸法に合わせフレームに鉛筆でマーキングする。

参考

2本のフレームは同形状です。どちらが前側、後側でもかまいません。

警告

「車種別取付方法」に記載のステー内寸法は、RV-INNO　IN-SU用です。
必ずUK専用メジャーを使い本製品用の寸法で取付けてください。

3 後側キャリアの幅調整

後側フレームも前側フレームと同様に幅調整を行い、フレームに鉛筆でマーキングする。

⚠警告

車種により前側と後側のキャリア幅が異なる場合があります。「SU取付フック」付属の車種別取付方法にしたがって正しく調整してください。

車種別取付方法

バーにステーマークを貼付ける

前側 前側
ステーマーク

前側キャリア Ⓐ ○○○mm
後側キャリア Ⓐ ○○○mm

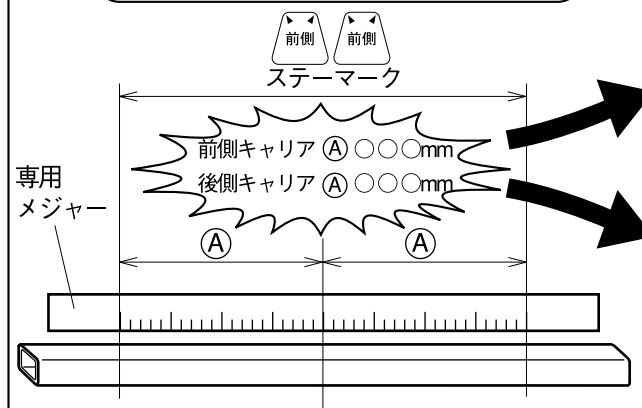
専用メジャー

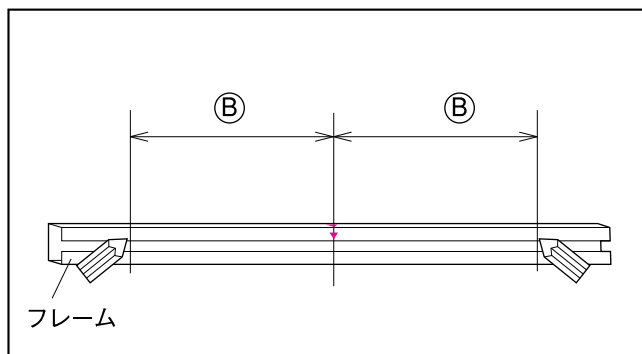
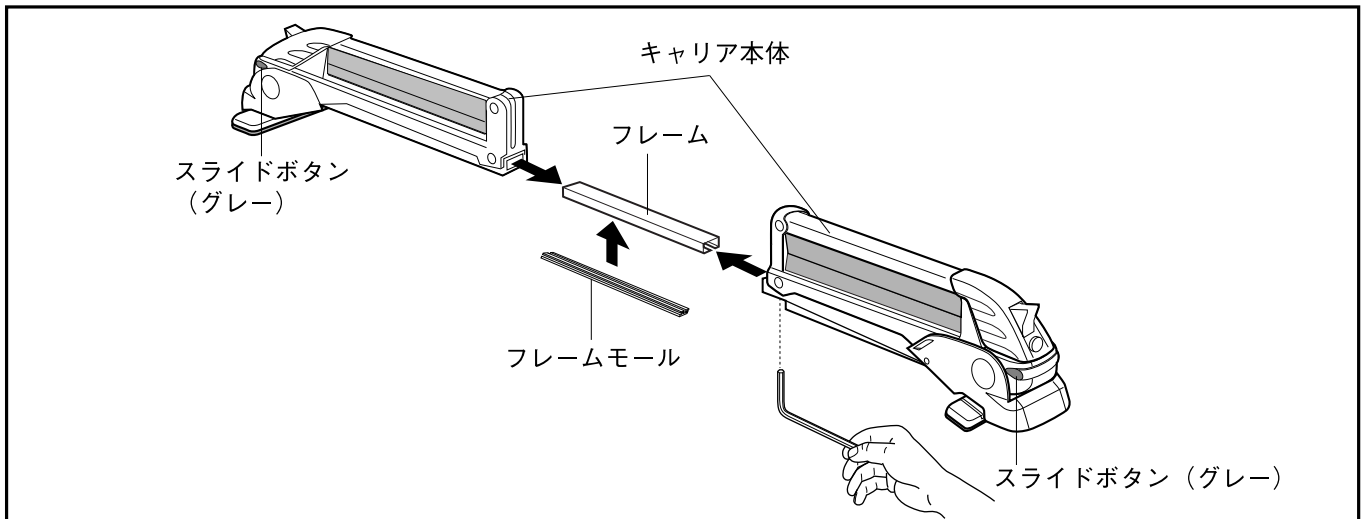
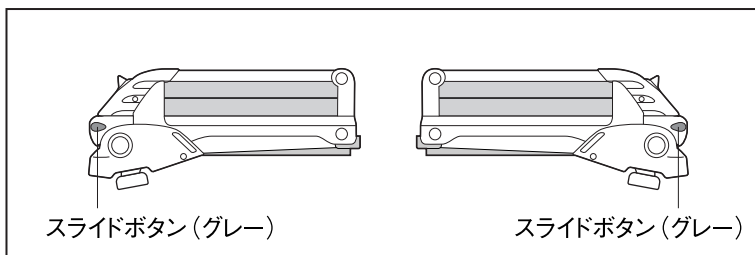
Ⓐ Ⓐ

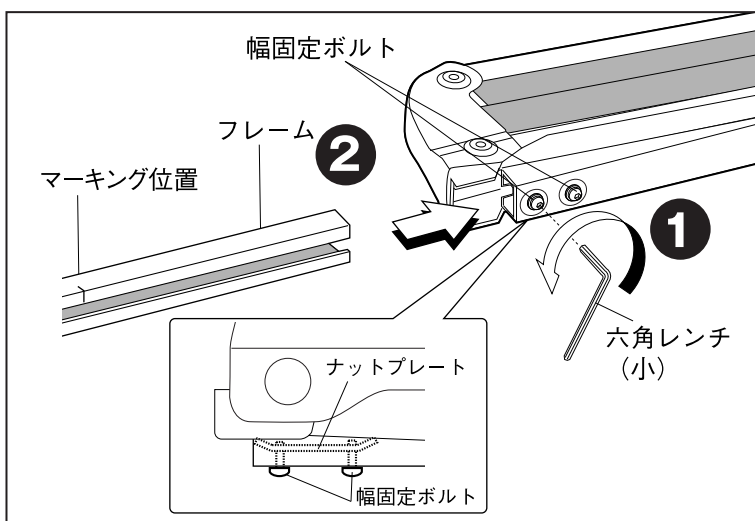
Ⓑ Ⓑ

フレーム

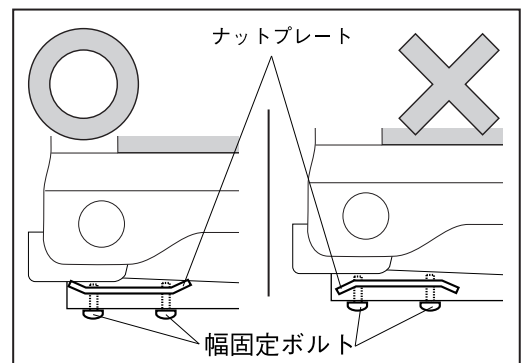
参考

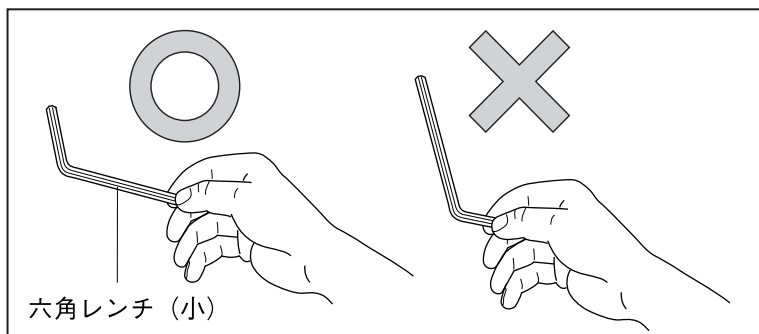
専用メジャーを使用しない場合は、下記のような計算からでも本製品用の寸法が出せます。

前側キャリアⒶ寸法 − 331 mm ＝ 前側キャリアⒷ寸法

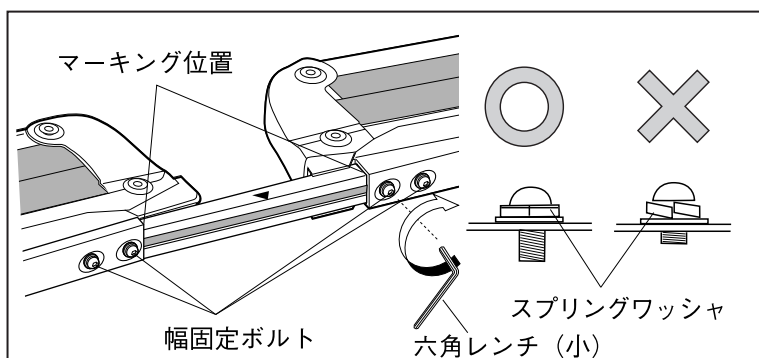
後側キャリアⒶ寸法 − 331 mm ＝ 後側キャリアⒷ寸法

キャリアの組立て

1 キャリア本体の向きを合わせる

スライドボタン（グレー）が同じ向きになるように左右のキャリア本体を組み合わせる。

2 フレームを差込む

① 六角レンチ（小）でナットプレートが外れない程度に2ヶ所の幅固定ボルトをゆるめる。（目安：約2～3回転）
② フレームのマーキング位置までキャリア本体を差込む。

⚠警告

ナットプレートが外れてしまった場合は、向きを間違えないように再度組み付けてください。

3 六角レンチ（小）の長い側を持つ

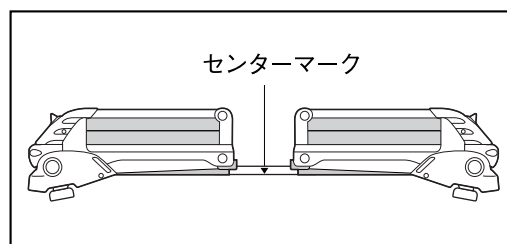
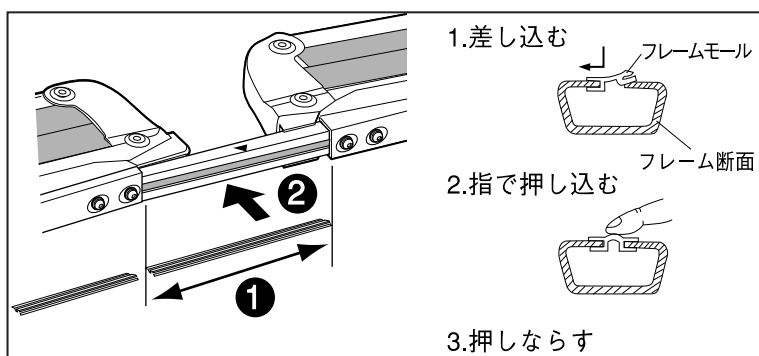
⚠注意

付属の六角レンチ以外の工具は使用しないでください。

4 ボルトを締める

フレームにマークした位置に合わせ、六角レンチ（小）で4ヶ所の幅固定ボルトをスプリングワッシャが平らになるまで締め込む。その上で、さらに固くなるまで締め込む。

⚠警告

前後で計8ヶ所の幅固定ボルトにユルミがないように確実に締めてください。

⚠注意

センターマークは必ずキャリアの中央に合わせてください。

5 フレームモールを取付ける

① フレーム裏側のミゾの長さに合わせてフレームモールを切る。

② フレームモールをフレームに差込む。

参考

フレームモールは前後のキャリアとも取付けてください。
フレーム裏側のミゾを全てふさがないとフレーム裏側のミゾから風切り音が生じます。必ず、隙間がないようにフレームモールでふさいでください。

キャリアの位置決め

1 取付マークを貼りつける

車種別取付方法

車両に取付マークを貼付ける

取付マーク

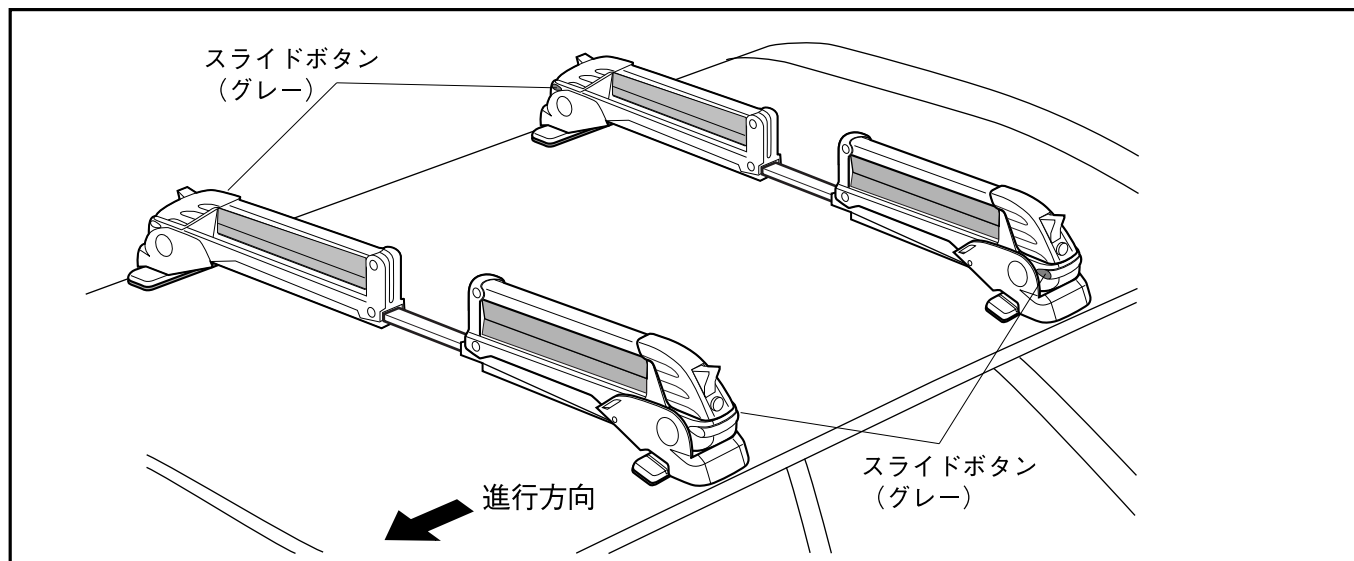
前側 後側

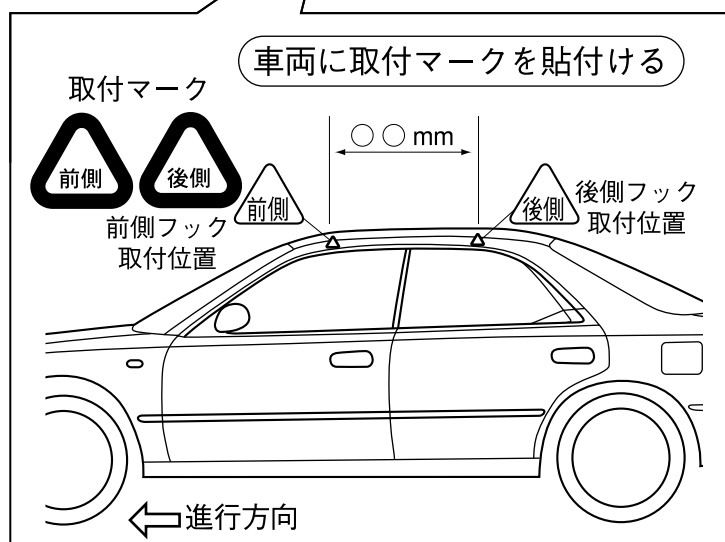
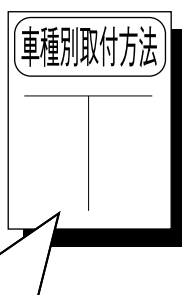
〇〇mm

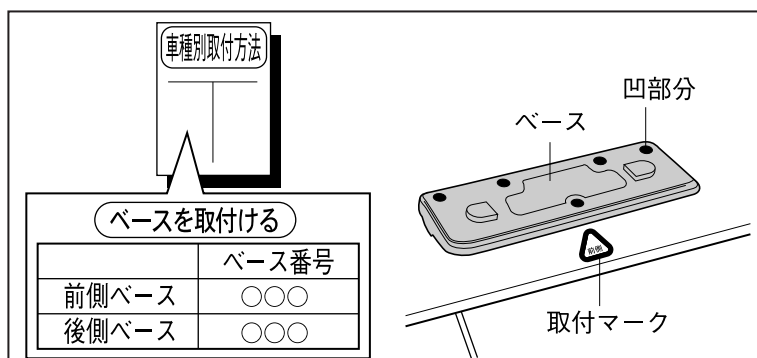
前側 後側

前側フック取付位置

後側フック取付位置

進行方向

SU取付フック付属の「車種別取付方法」に従い、フック取付位置に、メジャーを使用してシールシート（SU取付フック付属）の取付マークをクルマに前後4ヶ所貼付ける。

参考

車種により取付マークが不要の場合があります。
車種別取付方法に従ってください。

2 ルーフにベースを載せる

	ベース番号
前側ベース	○○○
後側ベース	○○○

SU取付フック付属の「車種別取付方法」の前後左右のベース番号を確認する。
車のルーフ上にベース（SU取付フック付属）を載せる。

⚠警告

ベースは、丸い凹部分が4個ある側がクルマの内側になります。

⚠警告

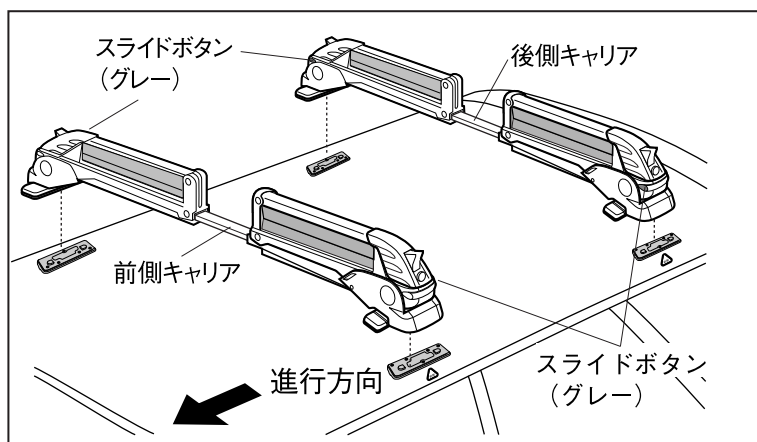
ベースの取付向き、取付箇所が違うとルーフ形状に合わず、フックの固定力不足によりキャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

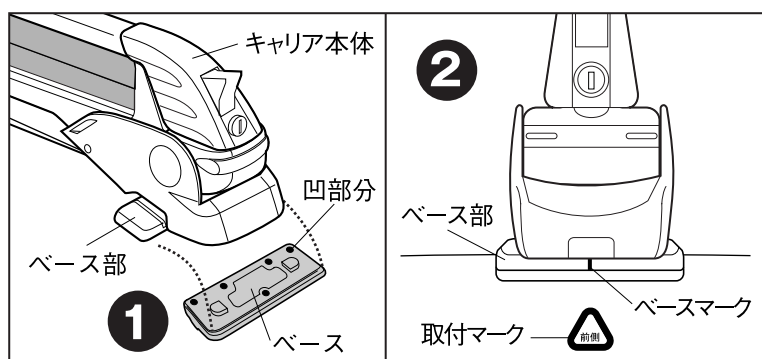
⚠警告

ベースは、前後左右で違う番号の場合がありますので必ず車種別取付方法に従ってください。

参考

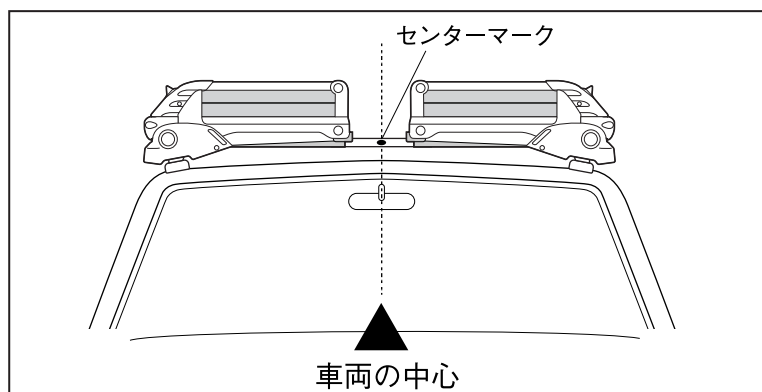
ルーフの傷付き防止のため、ベースの載る部分に別売のベースシート（IN-101）を使用することをおすすめします。

3 キャリア本体の向きを合わせる

スライドボタン（グレー）が内側になるように、キャリア本体の向きを合わせる。

4 キャリア本体をベースマークに合わせる

① キャリア本体をベースの上にのせる。
② キャリア本体ベース部のベースマークの位置を取付マークの延長線上に合わせる。

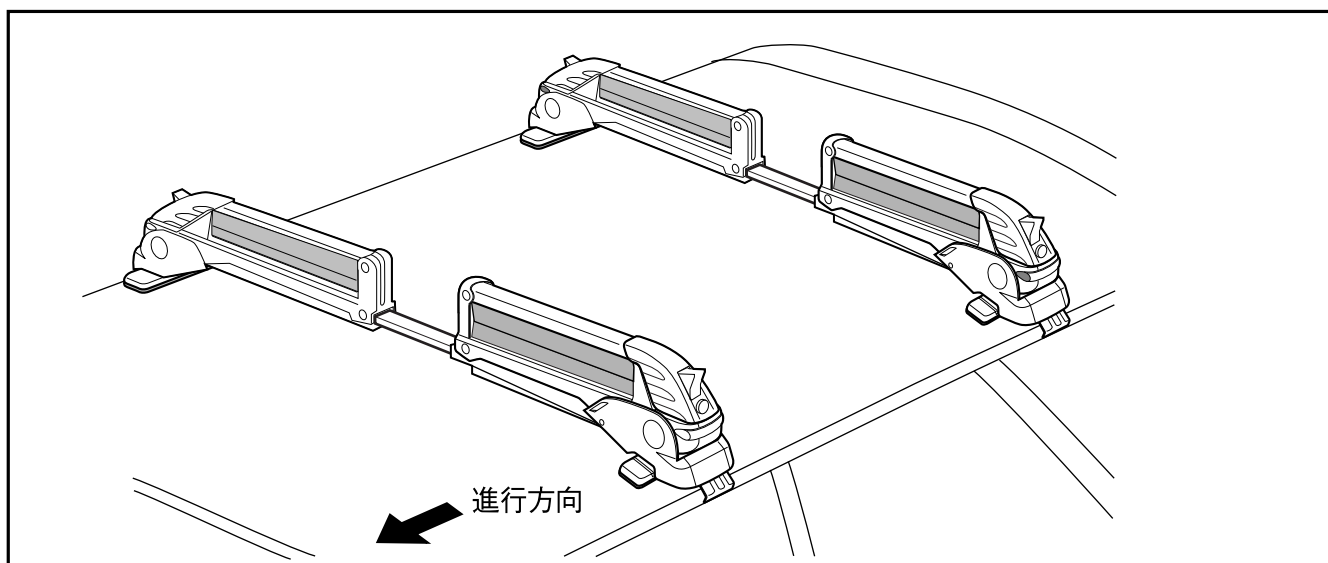
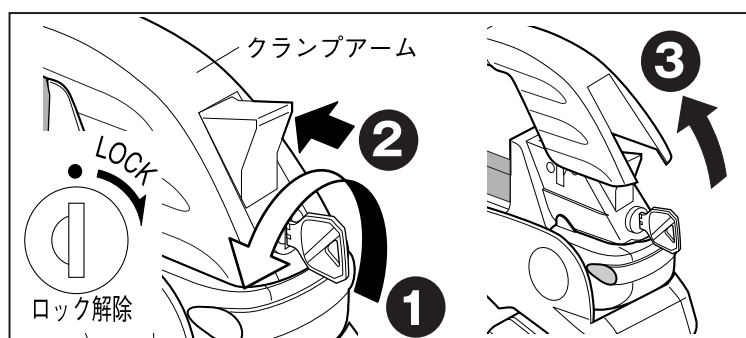
⚠警告

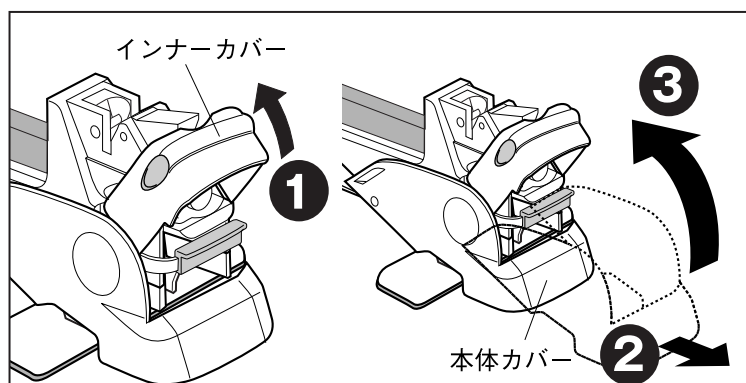
車種により前側と後側のキャリア幅が異なる場合があります。前後を確認して取付けてください。

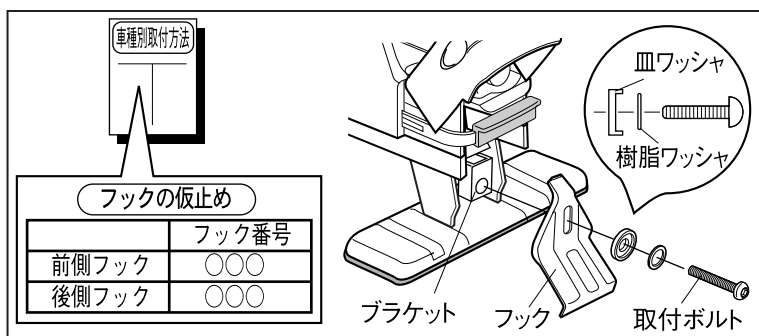
5 キャリアとルーフの中央を合わせる

車両の正面から見てキャリアがルーフの中央に載るように調整する。

参考

キャリアがルーフの中央に載っていないと、キャリア取付後に本体カバーが閉まらない場合があります。

キャリアを車両に固定する

1 クランプアームを開ける

① キーを"反時計回り"に回しロックを解除する。
② ボタンを押す。
③ クランプアームを開ける。

2 本体カバーを開ける

① インナーカバーを持ち上げる。
② 本体カバーを手前に引く。
③ 本体カバーを上に回転させて持ち上げる。

3 フックを取付ける

	フック番号
前側フック	○○○
後側フック	○○○

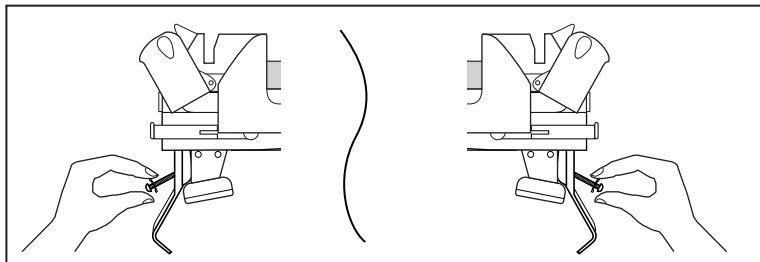
SU取付フック付属の「車種別取付方法」の前後左右のフック番号を確認する。
キャリア本体のブラケットに、フック（SU取付フック付属）、皿ワッシャ、樹脂ワッシャと取付ボルトを差し込む。

⚠警告

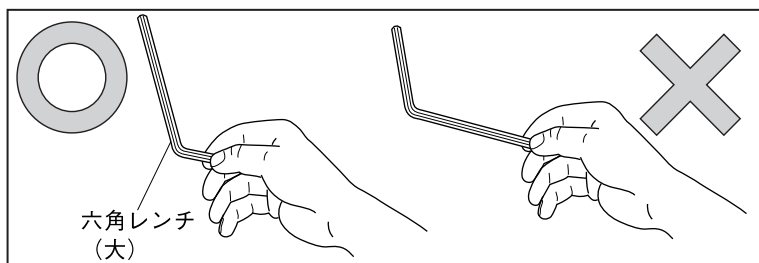
皿ワッシャ、樹脂ワッシャは必ず図の向きで取付けてください。

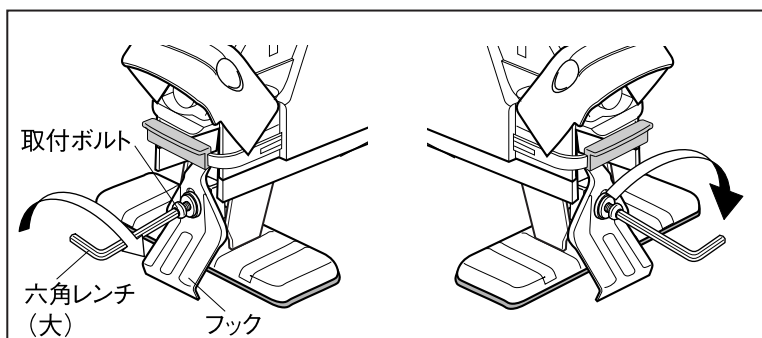
⚠警告

フックは、前後左右で違う番号の場合がありますので必ず車種別取付方法に従ってください。

4 取付ボルトを締付ける（仮止め）

フックをルーフに引掛け、手で左右交互に取付ボルトを締付ける。

5 六角レンチ（大）の短い側を持つ

⚠注意

付属の六角レンチ以外の工具は使用しないでください。

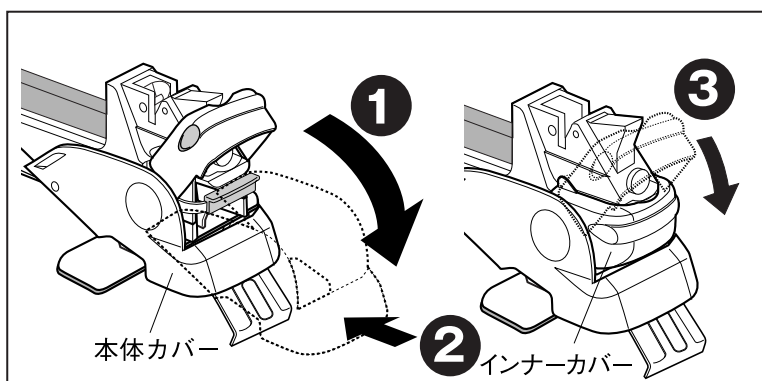
6 取付ボルトを締付ける

左右交互に取付ボルトを均等に締付ける。

⚠注意

取付ボルトを過度に締付けると、ルーフやモール端を傷つけるおそれがあります。必要以上の締付けはしないでください。

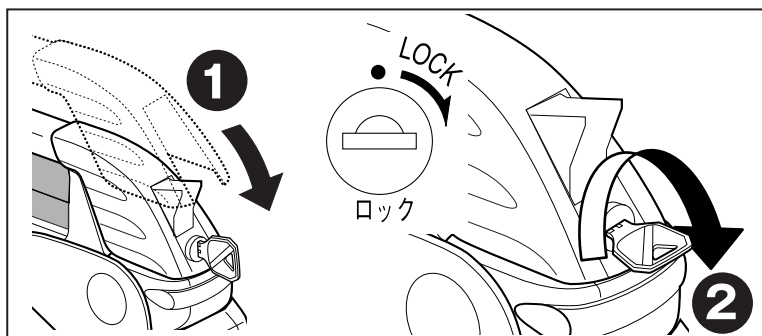
⚠警告

スキー・ストック・スノーボードを積載すると、取付ボルトにユルミが生じるおそれがあります。必ず増締めしてください。

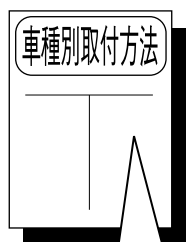
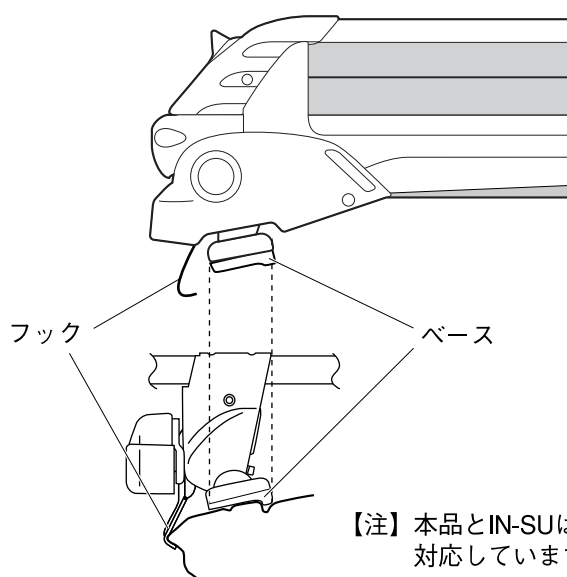
7 本体カバーを閉め、インナーカバーを倒す

① 本体カバーを下げる。
② 本体カバーを奥にはめる。
③ インナーカバーを下げる。

参考

インナーカバーが倒れていないと、クランプアームが閉じません。

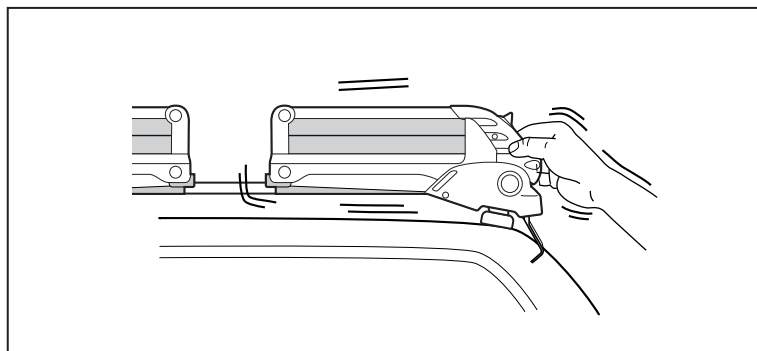
8 キーをロックする

① クランプアームを閉める。
② キーを˝時計回り˝に回しロックする。

キャリア取付け後の確認

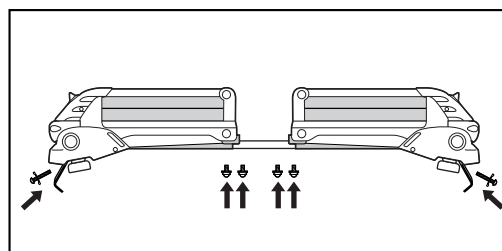
1 キャリアの取付位置の確認

■フック・ベース取付位置

SU取付フック付属の「車種別取付方法」に従い、ルーフに対するフックとベースの取付位置を確認する。

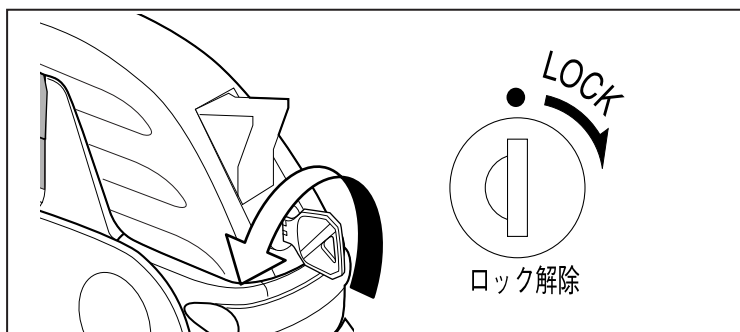
参考

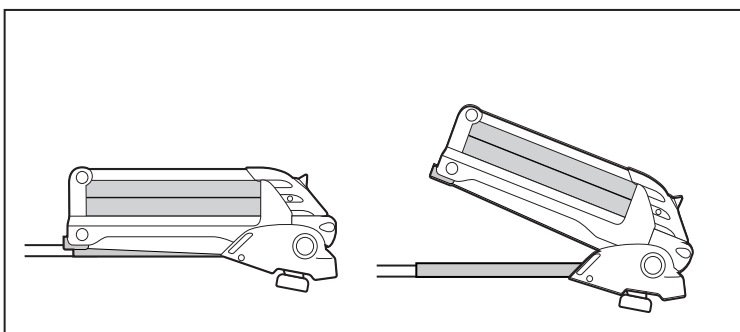
車両の製造上の原因によりドアと車体の隙間には、バラツキが生じます。隙間が特に狭い場合は、「SU取付フック」が窓ガラスやドア枠に付いているゴムに強くあたり損傷するおそれがあります。強く当たる場合は、ディーラーでドアの建て付けを修正してください。

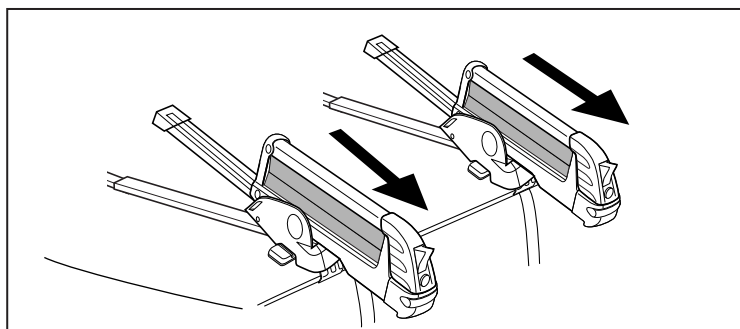
2 ユルミの確認

前後キャリアを前後・左右・上下にゆすり、ビスやボルトのユルミによるガタツキがないか確認する。

⚠警告

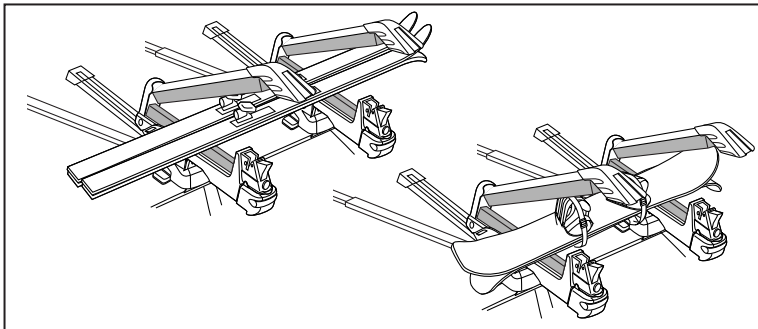
走行前に、必ず積載物を載せて前後キャリア合わせて12ヶ所のビスやボルトにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

使用方法

1 ロックを解除する

キーを"反時計回り"に回しロックを解除する。

2 キャリア本体の角度調節をする

キャリア本体の角度を調節する。
角度の調節方法についてはP22参照。

3 キャリア本体を引出す

キャリア本体をスライドさせて引出す。
スライドの操作方法についてはP20～21参照。

4 スキーまたはスノーボードが積載可能であることを確認する。P23参照

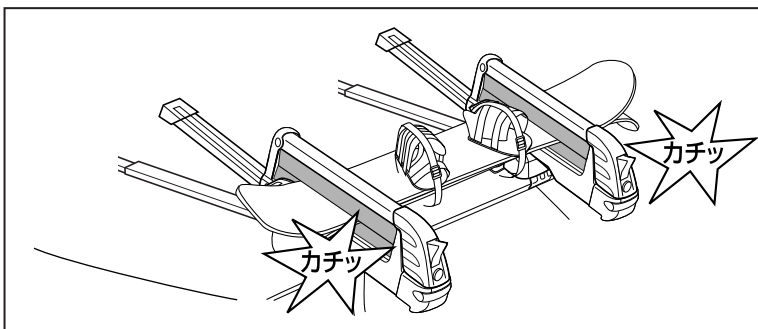
5 スキー・スノーボード・ストックを積載する

スキー・スノーボード・ストックの積載方法に従い積載する。P24～26参照

⚠警告

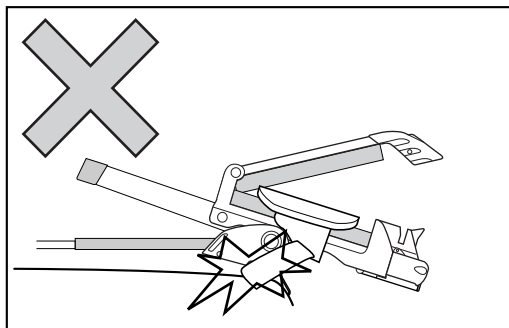
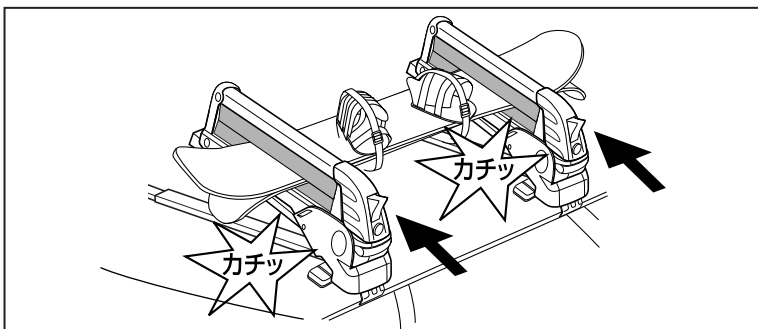
スキー・スノーボード・ストックが積載可能であることを確認し、積載不可のスキー・スノーボード・ストックは積載しないでください。

⚠警告

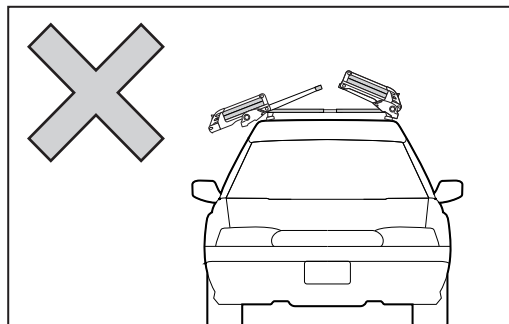
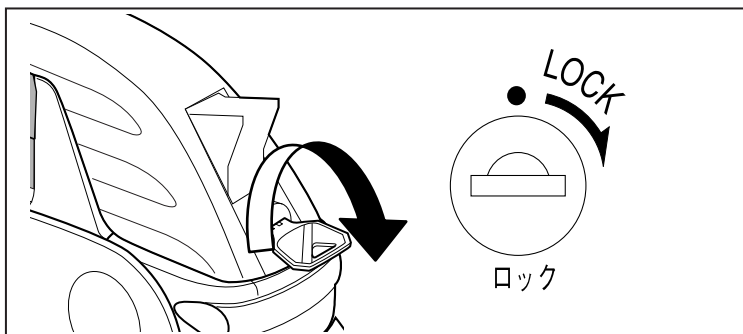
積載条件以外でスキー・スノーボード・ストックを積載すると、キャリアや積載物が脱落するおそれがあります。

6 クランプアームを閉じる

クランプアームを「カチッ」と音がするまで閉じる。

参考

スライドを引出した状態でバインディングがルーフに当たる場合は、バインディングを上向きにして積載するか、キャリア本体を引出さずに積載してください。

7 キャリア本体を押込む

キャリア本体を「カチッ」と音がするまでスライドさせて押込む。スライドの操作方法についてはP20～21参照。

⚠警告

キャリア本体を引出したままで走行しないでください。

8 キーをロックする

キーを"時計回り"に回しロックしキーを抜く。

9 走行前点検を行う

走行前に前後キャリア合わせて12カ所のビスやボルト、および4ヶ所のフックにユルミがないか確認し、ユルミがある場合は増し締めする。

10

スキー・スノーボードを下ろす際は、逆の手順で下ろしてください。

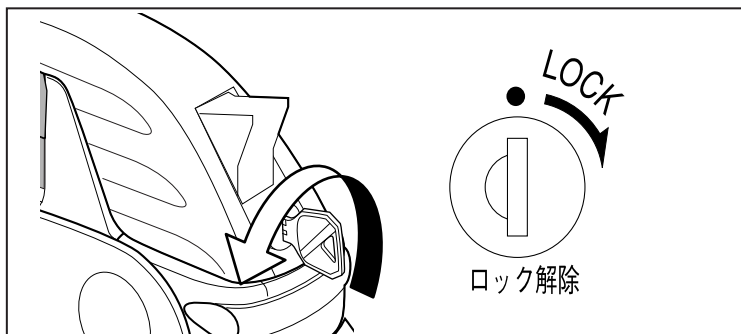
参考

積載物をおろす時は、手でクランプアームを下に押しながらボタンを押すと、簡単にクランプアームが開きます。

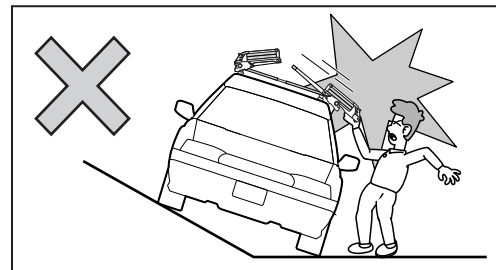
警告

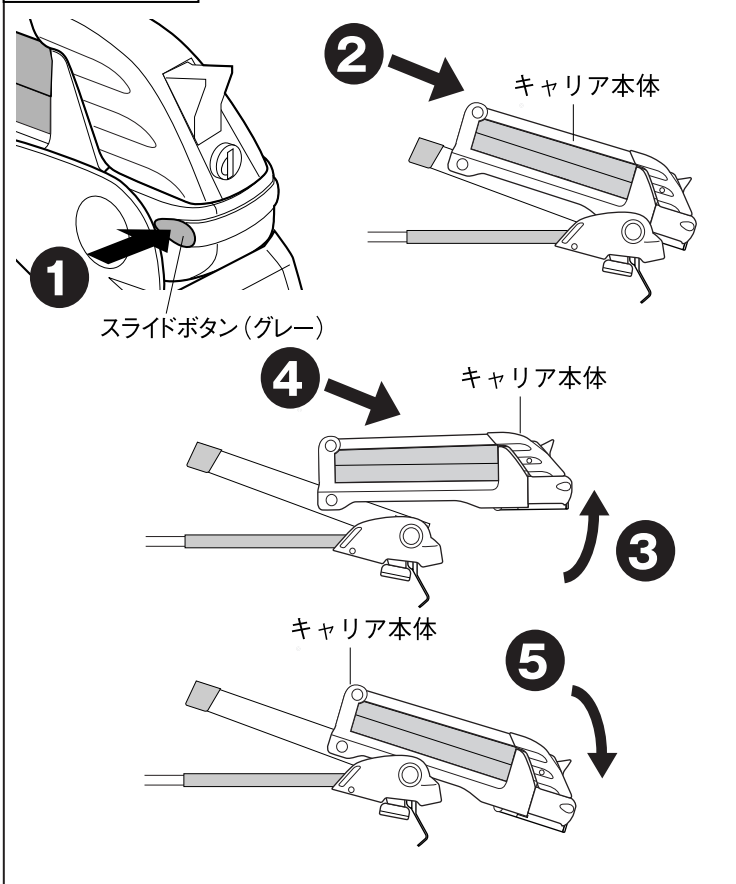
安全確認・可動部をロックするために、走行時は必ずキーをロックしてください。

スライドの操作方法

1 ロックを解除する

キーを"反時計回り"に回しロックを解除する。

⚠注意

車がかたむいた状態でスライド操作をする場合は、充分に注意してください。スライド部が急に動くなど、思わぬケガをする恐れがあります。

2 キャリア本体をスライドさせる

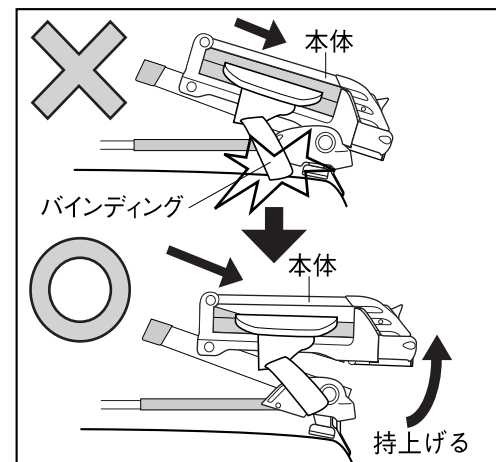
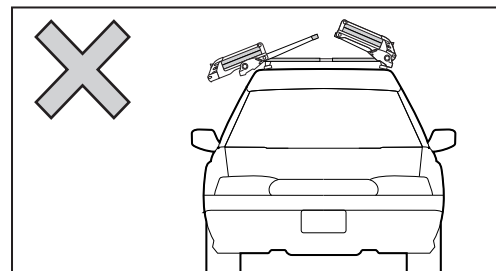
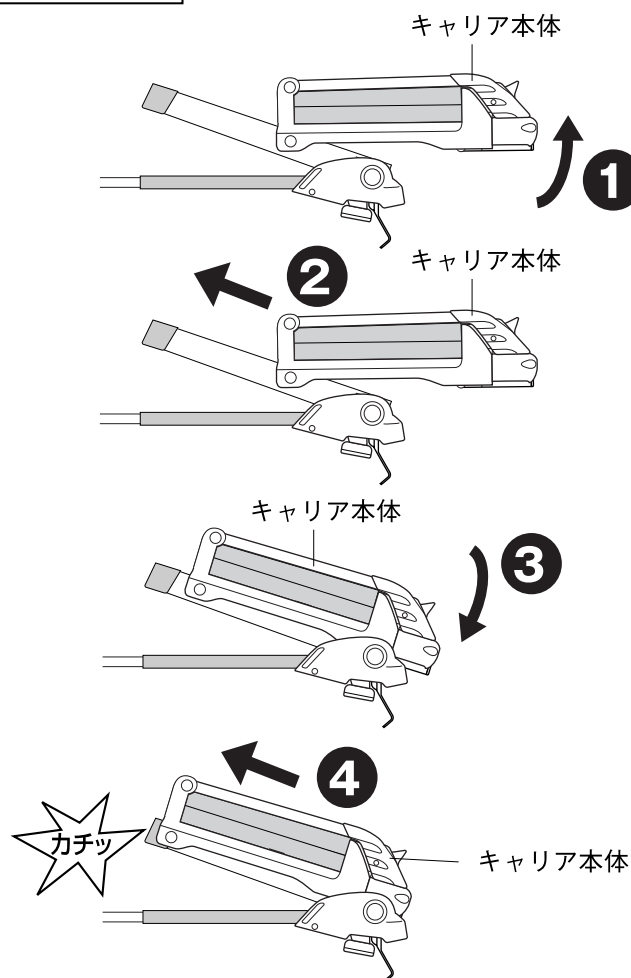
引出すとき

① グレーのスライドボタンを押す。
② キャリア本体をスライドさせて引出す。
③ キャリア本体を持上げる。
④ キャリア本体をスライドさせて引出す。
⑤ 手前まで引出し、キャリア本体をおろす。

⚠注意

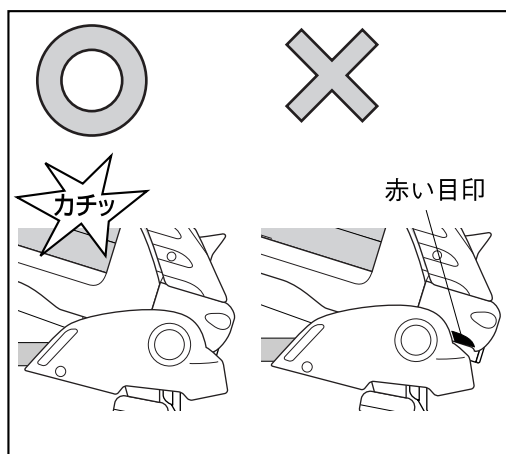
スライド操作するときに頭に当たらないように充分に注意してください。

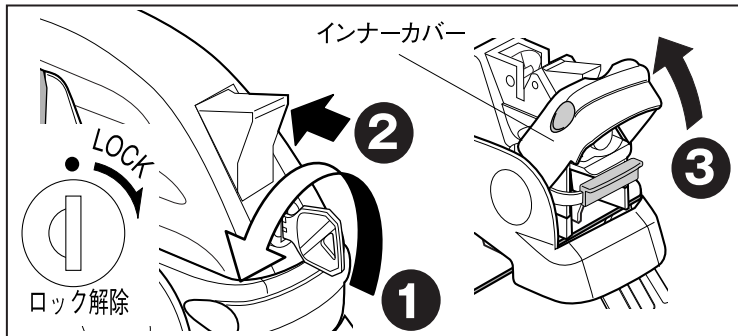
参考

スライドする際にスノーボードのバインディングがルーフに当たる場合は、キャリア本体を持上げてスライドさせてください。

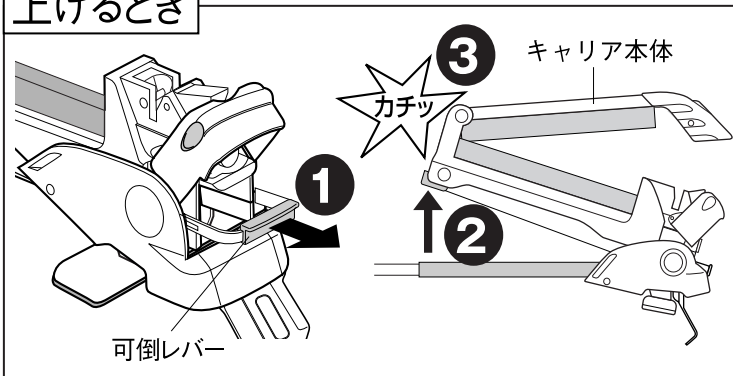
⚠警告

キャリア本体を引出したままで走行しないでください。

押込むとき

①キャリア本体を持上げる。
②キャリア本体をスライドさせて押込む。
③キャリア本体をおろす。
④「カチッ」と音がする位置までキャリア本体を押込む。

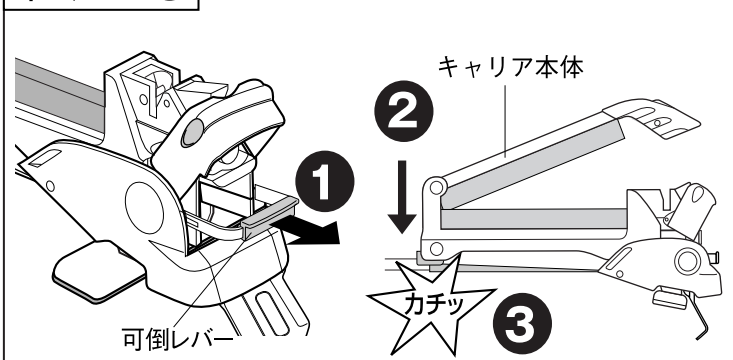
⚠警告

キャリア本体は、インナーカバーの赤い目印が完全にかくれ、「カチッ」と音がするまで押込んでください。

角度の調節方法

1 クランプアームを開け、インナーカバーを持ち上げる

① キーを"反時計回り"に回しロックを解除する。
② ボタンを押してクランプアームを開ける。
③ インナーカバーを持上げる。

2 キャリア本体の角度調節をする

上げるとき

① グレーの可倒レバーを手前に引く。
② キャリア本体を持上げる。
③ 「カチッ」と音がする位置で固定する。

下げるとき

① キャリア本体を支えながらグレーの可倒レバーを手前に引く。
② キャリア本体をゆっくり下ろす。
③ 「カチッ」と音がする位置で固定する。

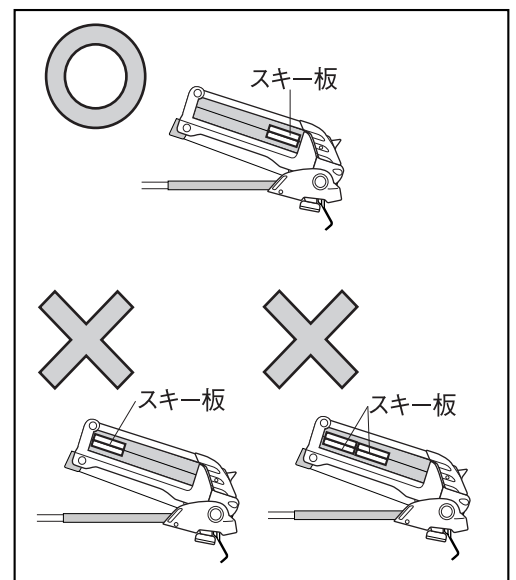
⚠警告

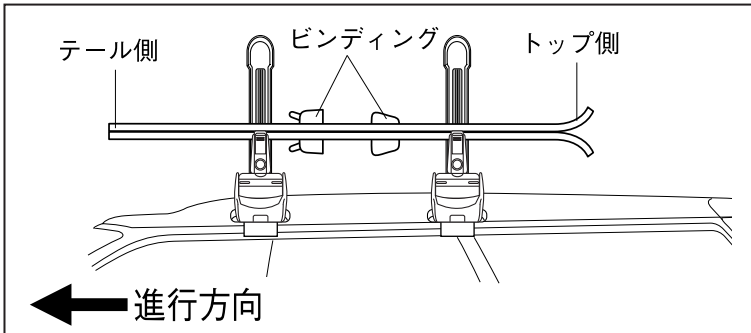
スキー等を積載した状態では角度調整しないでください。手をはさむなどケガ、事故につながるおそれがあります。

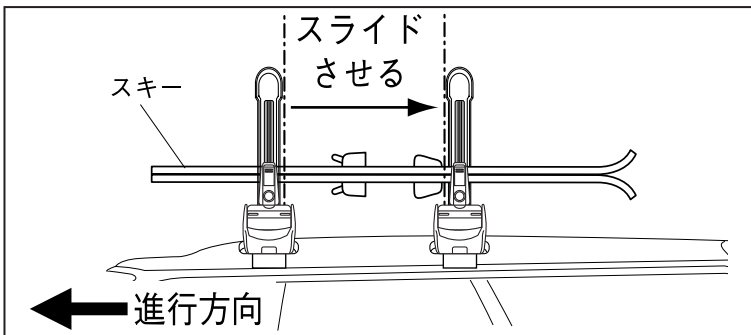
⚠注意

角度調整するときに手をはさまないように十分に注意してください。

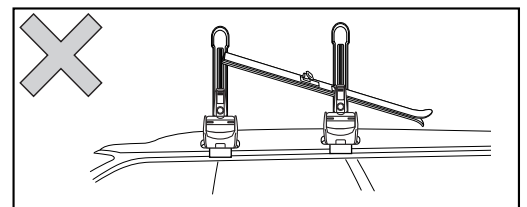
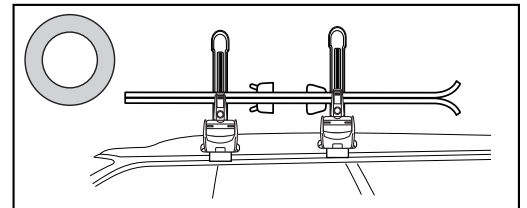
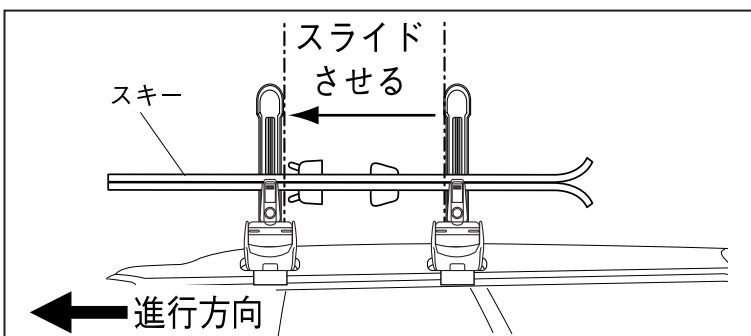
⚠注意

キャリア本体の角度が上がっているときに、スキーを1〜2本積載する場合は、手前側に積載してください。

積載可能なスキー・スノーボードの確認手順

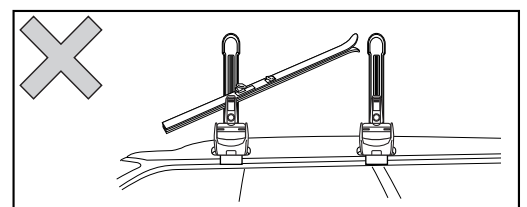
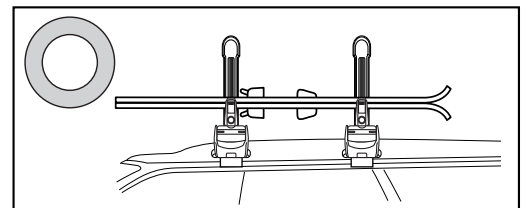
1 スキーまたはスノーボードを載せる

クランプアームを開けた状態で、スキーまたはスノーボードのテールを進行方向に向けてキャリアに載せる。

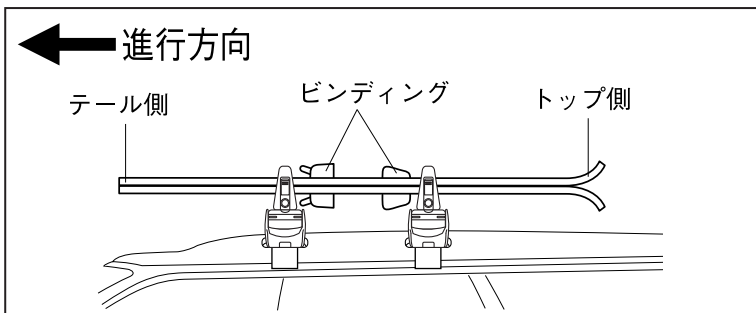
2 後部にスライドさせる

後部キャリアにビンディングが当たるまでスキーまたはスノーボードをスライドさせる。

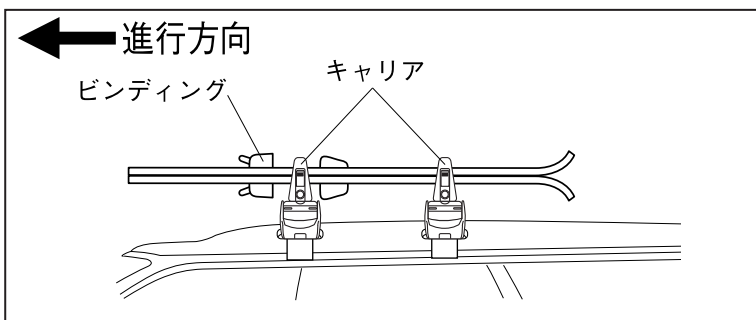
⚠警告

前部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。

3 前部にスライドさせる

上記確認で外れない場合でも、必ず続けて前部キャリアにビンディングが当たるまでスキーまたはスノー ボードをスライドさせる。

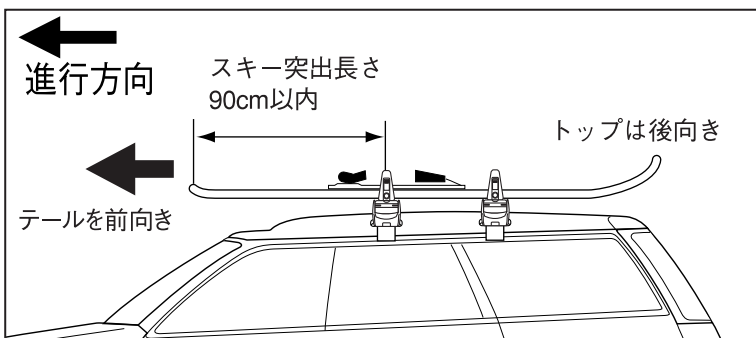
⚠警告

後部キャリアからスキーまたはスノーボードが外れる場合は、そのスキーまたはスノーボードは積載しないでください。

スキーの積載方法

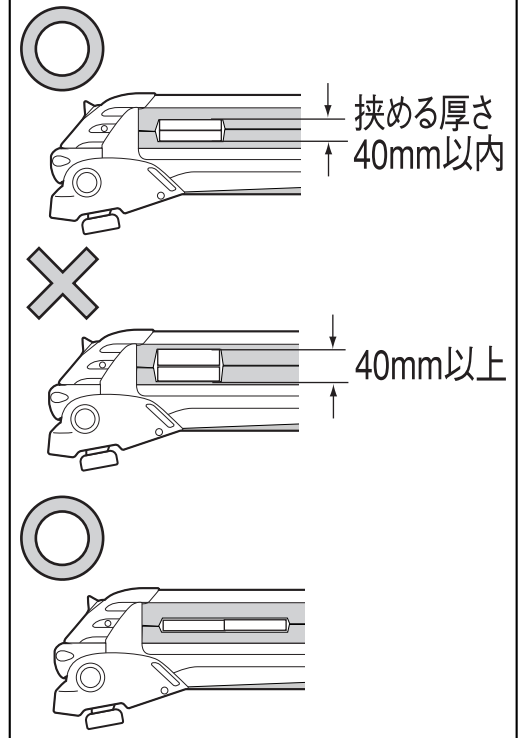
理想的な積載方法

① スキーは2枚合わせた状態で積載する。
② テールを車両の進行方向に向け積載する。
③ ビンディングは、前後キャリア間に入れる。

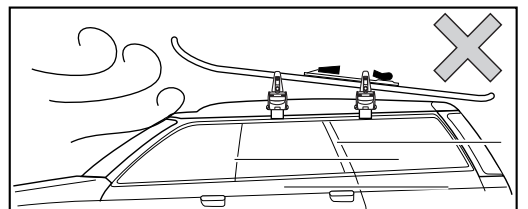
ビンディングが前後キャリア間に入らない場合

ビンディングが間に入らない場合は、かかと側のビンディングを、前側キャリアの前方に出して積載する。

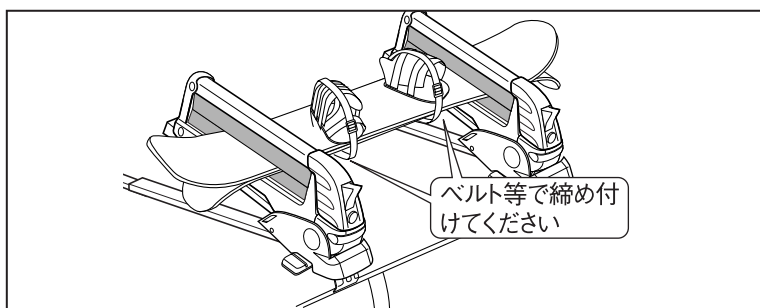
合わせた状態でキャリアにはさめない場合

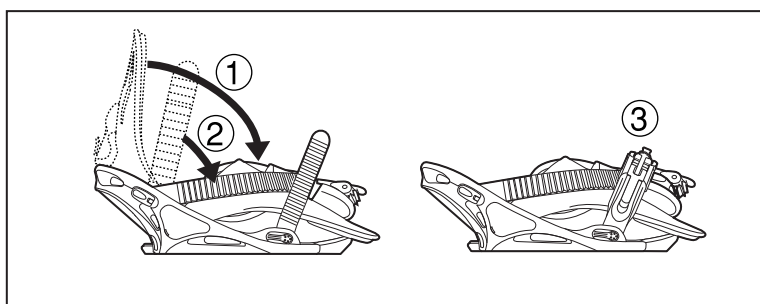
スキーを合わせた状態でキャリアにはさめず、スキー板をバラして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

① スキーはテールを進行方向に向けて積載する。
② ビンディングが間に入らない場合は、前にずらす。
③ 前側キャリアから突出する長さは90cm以内にする。
④ 積載する板の厚みの差は10mm以内とする。

⚠注意

スキーに一体型ビンディングやプレートが付いていて、合わせた状態でキャリアに挟めない場合は、スキーを合わせずに、バラして積載してください。

⚠警告

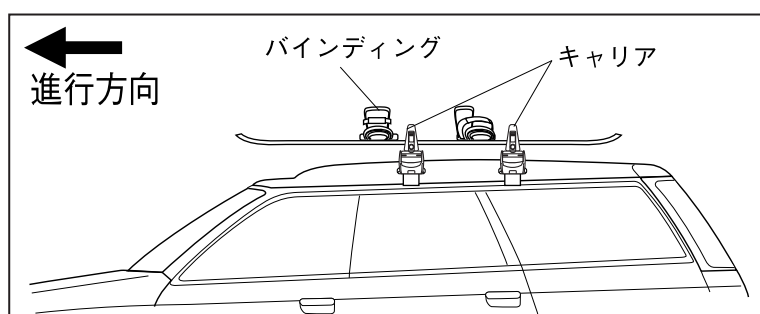
左記条件以外でスキーをバラして積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込む重大な事故を起こすおそれがあります。

スノーボードの積載方法

理想的な積載方法

① バインディングがルーフに当たらないようにベルトなどで固定する。
② バインディングは、前後キャリア間に入れる。

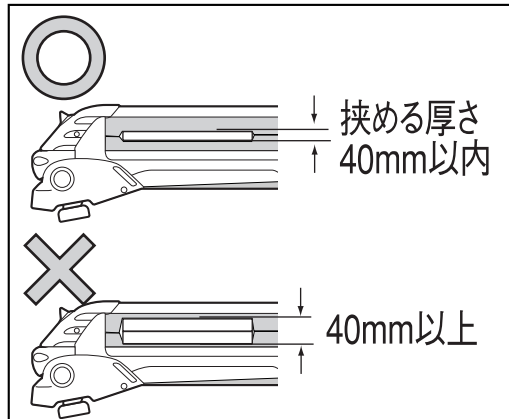
バインディングのたたみ方

① ハイバックを倒す。
② アンクルストラップをハイバックの上に重ねる。
③ トゥーストラップを締めて固定する。

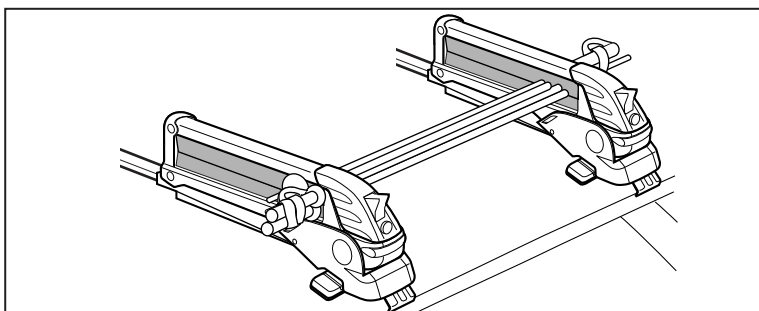
参考

バインディングの種類によっては左図のようにたためない場合があります。その場合は、バインディングがルーフに当たらないようにベルトなどで固定して積載してください。

バインディングが前後キャリア間に入らない場合

バインディングが前後キャリア間に入らない場合は、片方のバインディングを、前側キャリアの前方に出して積載する。

注意

デッキパッド等により、合わせた状態でキャリアにはさめない場合は、合わせずに1台で積載してください。

ストックの積載方法

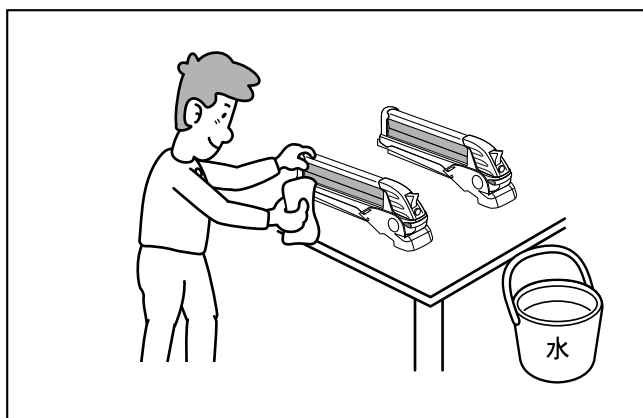
積載方法

① ストックはグリップとリングを必ず、前後キャリアの外側にして積載する。
② ストックのベルトがルーフに当たらないようにグリップなどにからめて固定してから積載する。

⚠警告

グリップとリングがキャリアの外側に出ないストックは積載しないでください。
リングのとれたストックは積載しないでください。
リングのとれたストックは脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

キャリアを取外す

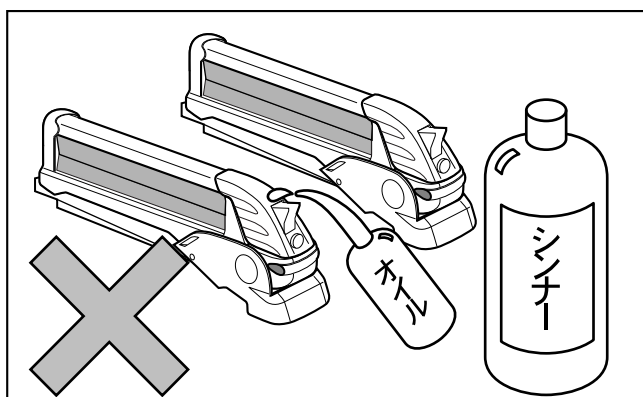
1 P13〜15の(キャリアを車両に固定する)と逆の手順でフック、ステーを車両から外し、キャリアを取外す

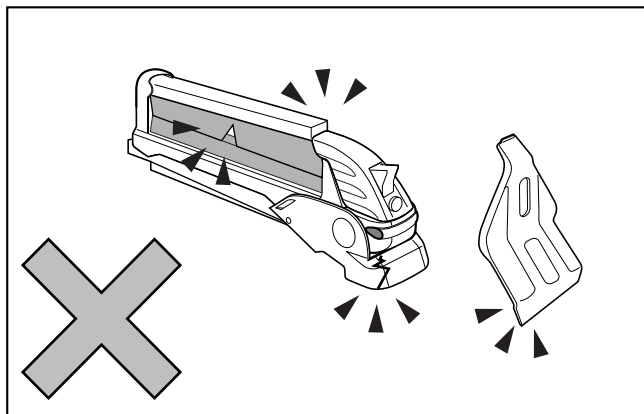
日常のお手入れ

1 水で汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

3 日陰でよく乾燥させる。

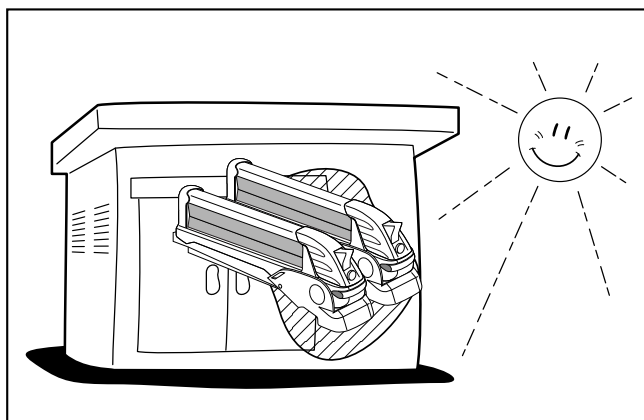
参考

●シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
●ビスやボルトへの給油はしないでください。

保管方法

各部の点検をする

1 キャリアを清掃し、下記の点検をする。

点検方法

1) フックに変形がないか点検する。もし、変形していれば交換する。
2) ラバークッションに亀裂、損傷がないか点検する。もし亀裂、損傷があれば交換する。
3) クランプアームやボタン、リベット、ピン等に損傷、破断があれば使用を中止する。

キャリアを保管する

1 直射日光の当たらない乾燥した屋内に、キャリアを保管する。

⚠警告

- キー、フック等の小物部品は、まとめてビニール袋にいれてキャリアといっしょに保管すると便利です。
- キャリアを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや歪みなどを防ぐために、車両から外して保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、キャリアを購入された販売店にパーツNo.またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。
●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社カーメイト